



ともしび

— TO MO SI BI — 第331号

2023(令和5)年11月号

ほうおんこう
「報恩講の季節ですね！」

ようやく気候も秋めいてきましたね。この季節になると「いよいよ報恩講の時期だな」と感じます。

報恩講とは、浄土真宗の開祖親鸞聖人の御命日に聖人の遺徳を偲び、阿弥陀如来のお救いを私たちに伝えるためにご苦労くださったことに感謝し、ご恩に報いるための法要で、一年の中で最も大切にされる法要です。この時期に、ご家庭やお世話になっているお寺で報恩講のお参りをして、年明けの一月には本山 本願寺で行われる御正忌報恩講(ごしようきほうおんこう)にお参りするのが、真宗門徒のたしなみとされています。

東久留米分院の報恩講は

十一月二十三日です。皆さんのお越しを心よりお待ちしております！

ほうおんこう
「なぜ報恩講が大切なのか？」

さきほど、「報恩講は一年の中で最も大切な法要」と言いましたが、なぜ大切なのでしょう？

「報恩」とは、文字どおり「恩に報いる」ことですが、もう少し踏み込んでいくと「恩を報(しら)せる」という側面が見えてきます。

私たちは、自分がその方からどれほど恩を受けているかを知って、はじめてその恩に報いようという心を起こします。言い換えれば、知らなければ恩に報いようという心など起こさないので私たちが凡夫(この世の真理を理解していない者)です。本当は、様々なものから恩を受けながら生かさせていただいているのに、そのことにほとんど気付いていない、あるいは気付いても、いつの間にか忘れてしまいます。

それと同じように、ほとんどの人は、親鸞聖人から、どれほど尊い恩を受けているかを報(しら)されたとしても、いつの間にか忘れてしまうのです。だからこそ、報恩講で親鸞聖人が明らかにされた阿弥陀仏の教えを聞かせていただき、その恩をあらためて報(しら)せていただくご縁の中で、念仏を喜ぶ人生を歩ませていただくという心を新たにします。

自ら念仏を喜び、その姿に出逢った人々に念仏が伝わり続ける、それこそ、親鸞聖人の恩に報いる「報恩」の道となるのです。

ちなみに「講」とは、今で言う「チーム」のようなものです。

報恩講とは「親鸞聖人の恩を報らされた人達が、その恩に報いるための大切な行事」なのです。

10月の会館の様子

常例法座

ご講師:佐々木 了俊 師(東京都 明西寺)

10月22日(日) 午後1時～

17名の方がご参拝・お聴聞くださいました。佐々木先生は「阿弥陀如来が全ての『いのち』を救いたいと願われた理由は何なのか?」ということをお話してくださいました。「眠い人は寝ていただいて構いませんよ～」と仰るなど、柔らかなお人柄の方でした。お話も、ときどき皆さんに問いかけるなど、退屈しないよう工夫されていました。



和讃譜にも少しずつ慣れてきました



法話講師の佐々木了俊 先生
（「イケメン!」との声も!）



10月が誕生日の方と記念撮影



白熱のお供物ジャンケン!

その他のお知らせ

東久留米会館からのお知らせ

まだ間に合います！ 築地本願寺報恩講団体参拝について

今年の築地本願寺報恩講への団体参拝は11月12日(日)10時からの日中法要に参拝を予定しています。
締め切りを11月2日(木)に延長しますので、参加される方は東久留米会館へ申込ください。現地集合・現地解散・昼食はお斎弁当です。
※この日は、法要以外にも、パイプオルガン演奏があります!(12:45から)



引き続き	17時00分	16時00分	引き続き	14時00分	13時20分	12時45分	10時00分	9時00分	6時30分	12日(日)
初夜布教	初夜勤行	「御絵伝」絵解き布教	帰敬式	速夜法要	堂内布教	パイプオルガン演奏	日中法要	御示談	晨朝布教	
山本清哲師 (10分1席)	正信偈行譜 六首引 (約30分)	千田 匡真師 (40分1席) 聞法ホール	朝戸 臣統師 (40分1席)	宗祖讚仰作法 音楽法要 (約40分)	南條了瑛師 (30分1席)	(約30分) 関連17ページ	無量寿経作法 (約40分)	相馬一意師 (50分1席) 聞法ホール	朝戸 臣統師 (30分1席)	礼讃日没偈 (約40分)

♪パイプオルガン演奏♪

日 程 11月12日(日) 12:45~ 会 場 本堂 演奏者 英 貴子

■プログラム

「聖親鸞」	作詞 菊地 祐恭	作曲 永塚 裕
「小フーガ ト短調 BWV578」	作曲 J.S. バッハ	
「トッカータとフーガ ニ短調 BWV565」	作曲 J.S. バッハ	
「ラルゴ」	作曲 G.F. ヘンデル	
「ユー・レイズ・ミー・アップ」	作曲 R. ラヴランド	
「ふれあるき」	作詞 観月 浩道	作曲 中田 喜直
「旅ゆくしんらん」	作詞 釜瀬 春風	作曲 升田 徳一
「報恩講の歌」	作詞 日曜学校同人	作曲 野村 成仁

東久留米会館の 行事案内

—Schedule—

▶ 1 1月の行事予定

親鸞聖人御命日お晨朝総参拝

11月16日(木) 午前7時～

ご参加いただいた方には、お供物のおさがりをプレゼントいたします。

仏具の「おみがき」

11月19日(日) 午前10時～

報恩講を迎えるにあたり、みんなで仏具を磨きましょう!普段、触れられない仏具に触れる貴重な機会ですよ!汚れても良い恰好でお越しください。

東久留米分院 報恩講

11月23日(木祝) 午前10時～

ご講師:澤田 唯 師(茨城県 安楽寺)

報恩講とは親鸞聖人の祥月命日(亡くなった月日)の法要で、浄土真宗では特に大切に勤めます。この日は、雅楽も奏される法要です。ぜひ、お越しください!

▶ 1 2月の行事予定

東久留米会館奉讃会 念仏奉仕講(会館美化活動)

12月 1日(金) 午前8時～10時

あなたの手助けが必要です。途中参加大歓迎!誰でも参加できます。

常例法座(仏様の教え)

12月10日(日) 午後1時～

ご講師:山本 英哲 師(神奈川県 妙延寺)

仏さまの教え(ものの見かた・考え方)を分かりやすくお話しします。聞き終わったあと、心に何か変化があるかも?お気軽にお越しください!

東久留米会館会報 「ともしび」
発行日 2023年11月1日 第331号
発行者 伊藤 法友
住所 東京都東久留米市柳窪5-8-30
電話 042-474-6787

編集後記

いつも「ともしび」をお読みいただきありがとうございます。今月は紙面の都合で編集後記は割愛いたします。来月も読んでくださいね。

先月のご進納

【お仏飯米】

熊谷 武 様 森 久高 様 石田和美 様
村中秀行 様 山下 肇 様 近藤敏之 様

【備品等】

神谷正弘 様 石田和美 様 (順不同)

誠にありがとうございました。

おくやみ

大嶋 弘 様 上村 實 様
謹んでお悔やみ申しあげます。

その他のお知らせ